

□ 要請番号 (JL10626A02)



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
フィジー	H113 作業療法士		個別	新規 3代目	2年	・2026/3・2027/1・ 2027/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

保健・医療サービス省

2) 配属機関名 (日本語)

アライドケアファンデーション
N

3) 任地 (ラウトカ市) JICA事務所の所在地 (スバ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約 5.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

ラウトカ特別支援学校は1970年に設立され、教育省の管轄下でラウトカ市および西部地域の障害のある子どもや成人に教育・福祉サービスを提供している。現在、約220名の児童生徒と36名の職員を擁する。特別支援教育の質向上、とくに医療的支援強化を目的に、2025年7月にアライドケアファンデーションとしてNGO登録を行った。個別化教育を基盤に、日常生活スキル、健康管理、情緒・行動面の支援、学習環境の調整、コミュニケーション支援を実施し、家族支援や職業準備教育を通じて自立と地域参加を促進している。年間予算は約350万円で、2012年9月まで隊員(小学校教員)が2名配置された実績がある。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

西部地域では、運動・協調性や日常生活動作に課題を抱える児童が多い一方で、作業療法サービスは十分に整備されていない。そのため、近くに支援学校がなく、交通手段も十分に整っていない環境にある家族は、長距離移動に伴う高額な費用を負担せざるを得ない状況に置かれている。ラウトカ特別支援学校には作業療法士が不在であり、学習環境の整備、児童への関わり方、指導方法の改善に向けた専門的支援が求められている。こうした状況を踏まえ、特別支援学校を医療面から支援するアライドケアファンデーションに隊員を派遣することで、教室環境の調整や発達・動作面の評価に基づく教員への助言を通じ、児童の実態に応じた目標設定と学習参加の促進を図る体制の強化が期待され、今回の要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 生徒の作業遂行能力を評価し、教員が実施可能な簡易的アセスメント方法を提案する。
- 作業療法のアプローチ、教室環境の調整方法、運動発達を促す活動について、教員および補助教員へ指導・助言を行う。
- 教職員と協働し、児童の自立および学校生活への参加を促進するための個別作業療法プログラムを作成・実施する。
- ワークショップ等を通じて、家庭で可能な環境調整や運動発達を支える活動について、児童および保護者へ指導・助言を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

セラピーマットやクッション。大きささまざまなセラピーボール。ピン差し、ひも通し、パズル、積み木。テーブル、椅子、机など

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

団体代表:男性40代、ラウトカ特別支援学校スタッフ・教員:36名

活動対象者:教員、生徒220名(5歳から30歳):身体障害、感覚障害、知的障害、言語・言語発達障害、特異的学習障害、ADHD、ASD、脳性まひ、てんかん、慢性疾患、情緒的困難

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

英語

7) 選考指定言語

英語(レベル:C)

【資格条件等】

[免許/資格等]: (作業療法士が必須)

[学歴]: () 備考:

[性別]: () 備考:

[経験]: (実務経験) 2年以上 備考: 配属先の意向

[汎用経験]:

- ・障害者を対象とした活動経験が必須

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]: (温暖湿潤気候) 気温: (25~35℃位)

[電気]: (安定)

[通信]: (インターネット可 電話可)

[水源]: (安定)

【特記事項】

フィジーでは、隊員住居について配属先が提供できない場合、アパートなどの住居確保を最優先とするものの、確保が難しいこともあるため、状況によってはホームステイとなる可能性がある。

【類似職種】

・障害児・者支援

※活動内容が類似している要請が含まれる職種を表示しています。職種に拘らず要請内容でもご検討ください。